

2月の定例作業は2月8日(土) 9時からグリーントリム公園に集合

下枝刈り、支障木伐採、ゴミ拾いなどをします。

雨天のとき、翌週土曜日 2/15 に延期。

2月の平日作業は、2月18日(火) 9時からグリーントリム公園に集合

木々の剪定や落ち葉清掃などをします。雨天中止。

1. 1月の定例作業は、安全祈願の後、落ち葉清掃、支障木伐採など

1/11(土)は冬晴れ。陽の光に下では暖かい日です。参加者16名。年初めの挨拶があちこちで交わされ、ラジオ体操の後、会長の安全第一の挨拶、そして第1広場に向かい全員で安全祈願をしました。

作業は、落ち葉掃き、ゴミ拾い、ヒノキ林の支障木伐採です。各々が作業に掛かりました。落葉掃きは、グリーントリム公園の入口から第2広場手前までと、三角山、美原街道坂道でした。支障木伐採は、ヒノキ林の3本を切りました。伐採木は切断し、その中でコースター作りに適した細くてきれいな幹を選んで皮剥ぎをしました。伐採直後は樹の皮に水分があり、剥がしやすいのです。皮剥ぎしながら、“コースターを我々が作って、緑の募金の勧誘に使ったらいいんじゃないか”などの案が出ました。



安全作業を心に誓う
安全祈願



熊手やブローアで
落ち葉掻き



落ち葉を集めて
カブトムシ養殖場へ



支障木伐採
ヒノキ林は密集林立したヒノキが互いに成長を阻害して、細い木、曲がった木、折れた木など多数



枝払いした伐採木
このうち2本をコースター作りに皮剥ぎし、残りは薪用に

この後、休み時間を長めに取り、新春の歓談時間としました。入口広場の2つのベンチテーブルを囲んで、～歳になったとか、山登りの話とか、旅行、ロスの山火事、薪の売れ行き、卒寿の祝い、……などなど。

2. 1月の平日作業は、薪割り

1/21（火）晴れ、気温
6℃。参加者7名。

今年度は、薪が良く売れて、薪置き場の前1列が空になったので、本日少人数でもあり、久しぶりに薪割り、薪約35束作りをしました。長さ約40cmに切ってあった、乾燥した幹を薪割り機にかけました。薪割り機3人（薪材料運び1人、薪材料セッティング1人、薪割り機操作1人）と薪束作り3人の流れ作業で、35束作り、薪置き場に収納しました。

その後も薪の注文が続いています。



薪置き場は在庫十分になる



薪割り



薪を束ねる 1束 300円

3. 公園管理者らとの現地打合わせ

1/30（木）1時半より約2時間、土木課、ウィングパーク、環境政策課と美原里山保存会役員の合計12名で、里山現地打合せ会をもちました。先月のうち3者意見交換会での打合せに基づいたものです。

グリーントリム公園と根がらみ坂公園を巡回して、意見交換しました。主な議論は、

- 1) 斜面の下刈りをできる範囲でウィングパークさんにやってもらいたい。
- 2) 枝葉発生材集積所を4か所。回収は毎月第3月曜日。
- 3) ヒノキ林の全数伐木、広葉樹を植林しよう
- 4) 無人薪販売所を富士見公園に。
- 5) 果樹を増やそう
- 6) 道路境界近くの大木は枝の剪定など必要
- 7) ドウダンツツジをフェンスから30～50cm離すよう刈込む。
- 8) 緑を楽しめるよう間道整備を
- 9) 現斜面横断間道の他にもう一本斜面横断間道を作って緑を楽しむ。
- 10) 斜面縦方向の間道は土留めを作ろう
- 11) 根がらみ坂公園のコナラは早晚枯死倒壊の恐れあり、萌芽更新林などのプランを作る。
- 12) 根がらみ坂公園の3方の道路の車両がお互い見通せるように。
- 13) 3者の協働事業を公に発表することも考えてほしい。



林間巡回し打合せ

羽村市・ウィングパークとの協働関係を発展させよう

公園や緑地という社会資本を整備し管理する公的体制は、初め公的機関による執行から、次に、民間活力を取り入れ経済的合理性を求めることへと移行し、更に、住民の参加を得て公共性のレベルアップを図る新公共サービスへと移行する傾向が世界的に見受けられます。地方自治の本旨からすれば当然の帰結と言えるでしょう。

美原里山保存会・羽村市・ウィングパークが協働して、この里山の安全、環境、空間利用などを充実させようとしているのは、この潮流の上にいるのではないのでしょうか。